



こんにちは
日本共産党

市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

2016年2月
京都市長
選挙

戦争法廃止 2000万署名にご協力ください 「戦争する国」絶対アカン!! 憲法まもる京都市政を!!



新日本婦人の会伏見支部大会

第52回伏見支部大会が開かれ、西野市議は今の市政の状況を報告しました。

国の地方創生と呼応して、統廃合した元小学校や市営住宅の跡地を民間企業に差し出したり、京都市みずからの手で世界遺産の景観壊しをしていること。東部クリーンセンターの跡地も売却を含めて検討していること。高すぎる国保料は引き下げず、敬老乗車証の改善は進めながら、南部クリーンセンターには展望台や事故続きのバイオガス施設の建設など税金のム

憲法9条京都の会 講演会に参加しました



12月12日にキャンパスプラザで「戦争法廃止、立憲主義を取り戻すたたかいと9条の会活動」と題して、渡辺治一橋大学名誉教授の講演がありました。

渡辺治名誉教授は「安倍政権を倒し、戦争法を廃止するにはどんな戦いが必要か。それは2000万署名を集めきる。今こそ9条の会の出番」「2000万署名は政党への締め付けになり、裏切れない」「憲法は死んでいない。憲法改悪を許さず、戦争法を廃止し、憲法を次の世代に引き継ぐことは私たちの責務」と話されました。



11月 議会報告

保育士等の確保対策を
求める決議を全会一致
で採択

12月11日に閉会した11月市会で、「希望者すべてが入園することができるために、地域によっては保育施設の増設や定員増が求められている」「一方、『新規採用の募集をしても応募がない』、『資格は持っていないも保

ダ使いは進めていることなどを報告しました。
西野市議は「何よりも戦争法に反対できず、憲法を変える立場の市長はかえなければなりません。本田市長の実現に頑張りましょう!」と訴えました。

育園(所)に就職しない』、『新規採用された職員が早期退職する』など、保育現場での保育者不足は深刻な問題となっている」「給与引上げなど、業務責任の重さに見合った処遇の改善なしには保育者不足が解決しないことは明らかである」「京都市においては、保育に関わる職員の専門職にふさわしい処遇の改善も含め、多様な保育人材の確保策を早急に講じるよう求める」という内容の決議が全会一致で採択されました。
元のプール制を壊したことも保育制度改悪への矛盾が噴出し、与党議員を動かしました。

